

多賀工業会千葉県支部会報

茨城大学工学部 33号

平成 17 年度前期 [3 月よりの行事一覧表]

報 告	総会審議資料 12 頁 H16 年度決算、H17 年度予算 13 頁	支部長	税所 裕
第 32 回総会	平成 17 年度千葉県支部総会案内 2 頁	副支部長	大和田武義
新年会報告	1 月 9 日安食「金田屋」で 33 名参加 . . . 14 頁	幹事・総務	山形俊一郎
会員たより	会員たより 3 頁 70 余年の人生を元気で祝賀 4 頁 巨竜中国の光と影 6 頁	幹事・総務	山形俊一郎
		支部長	税所 裕
		寄稿 (29 機)	大津正夫
		寄稿 (32 金)	穂坂邦光

俳 句	平成 17 年度前期俳句募集 9 頁 兼題：虹、夜釣り、牡丹 締切日：5 月 15 日	俳句会長	塚越 要夫
	平成 16 年度後期俳句コンクール成績 . . 11 頁	副会長	小室 哲夫

囲 碁	第 28 回 5 月 21 日 (土) 9 頁 第 29 回 8 月 20 日 (土) 予定 第 30 回 11 月 19 日 (土) 予定 会場：船橋中央公民館 9:30~16:30	囲碁会長	高橋 孝雄
		副会長	穂坂 邦光

史跡・万歩会	史跡・万歩会長 高橋 清 副会長 佐藤栄一
第 45 回 行程 約 6 Km	平成 17 年 5 月 22 日 (日) JR 山手線巣鴨駅 10:30 集合 巣鴨駅 → 高岩寺(とげぬき地蔵) → 染井霊園(高村光太郎他著名人の墓) → 旧古河庭園 → 地下鉄南北線 西ヶ原駅
第 46 回 (参照 15 頁)	平成 17 年 7 月 7 日(木) 第 6 回バス利用 俳句吟行会合同バス旅行 西船橋 → 茨大工学部(母校)訪問 → さかなセンター → 水戸偕楽園 → 西船橋 集合場所：西船橋(本文地図参照) 集合時刻：7 時 55 分
第 47 回 行程 約 7 Km	平成 17 年 9 月 24 日(土) JR 内房線袖ヶ浦駅 10:30 集合 袖ヶ浦駅 → 袖ヶ浦公園 → 万葉の植物 → 郷土資料館 → 上池一周(1.6 km) → 袖ヶ浦駅
第 48 回 行程 約 7.5 Km	平成 17 年 11 月 26 日(土) JR 松戸駅 10:00 集合 松戸駅 → 江戸川河岸 → しばられ地蔵 → 水元公園 → JR 金町駅

ゴルフ会 (参照 14 頁)	春ゴルフコンペ 4 月中旬 5 支部懇親ゴルフコンペ 6 月上旬 夏ゴルフコンペ 7 月中旬 秋ゴルフコンペ 10 月 21 日	ゴルフ会長	高萩 隆司
		副会長	綿引 貞男

平成17年度

第32回千葉県支部総会開催案内

副支部長 大和田武義 (32 電気)

幹事・総務 山形俊一郎 (33 短電)

平成17年度の総会を下記の要領で開催いたしますので、万障お繰り合わせの上ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

1. 日時 平成17年5月28日(土) 午後1時より

2. 会場 国民年金保養センター“そとぼう”

千葉県夷隅郡岬町和泉 4437-10 (Tel 0470-87-7111)

・交通手段・下段に示すJR外房線列車を利用して大原駅下車

大原駅で送迎バスが皆様をお迎えします。バス出発予定12時20分

3. 会費 7,000円

4. 総会次第

4.1 総会 13時～13時40分

①平成16年度事業報告・決算報告及び監査報告

②平成17年度事業計画(案)・予算(案)

③役員改選など ④その他

4.2 講演会 13時50分～14時35分

①講演者 東京大学名誉教授 明石 和夫氏 (昭和22年金属工業科卒)

②演題 「大学での教育・研究四方山話」

・44年間の大学教育研究に従事している間の諸事について、大学という特殊社会の内情を中心に、新旧の話題を興味深く紹介していただける。

③経歴 昭和22年多賀工専卒業後東大工学部に入学そして卒業後某企業の研究所数年勤務した後、東大工学部に転勤、その間工学部と生産技術研で通算29年そして東京理科大理工学部で15年勤務して、各種研究と教育に活躍された。

4.3 記念写真撮影 14時45分～15時

4.4 懇親会 15時～16時45分

行事詳細報告や紹介、会員相互情報交換そして懇親

☆お願い お手数でも同封の返信用葉書で、5月9日(月)までに欠の返事を下さい。

以上

[会場周辺の紹介]

時には磯の香を感じながら、海と山が楽しめる外房のリゾート地も良いとお勤めしたく、南房総国定公園の中にある保養センターに会場を設定しました。

会場には太平洋の絶景が一望できる大天然温泉浴場があり、最高の日の出を楽しめ、近くには次のような観光地がありますので、是非一泊してお楽しみください。

1) 銚子と犬吠埼 2) 九十九里海岸 3) 太東崎灯台 4) 月の砂漠記念館

5) 勝浦 6) 近隣ではゴルフ場・テニスコート・各種マリンスポーツなど

◎宿泊希望者は前日か当日か明記の上連絡下さい。

宿泊費の目安：一泊2食で@9,000～14,000 (一泊朝食のみでは約¥2,000引き)

[交通の便]

JR 特急わかしお7号 東京11:00-蘇我11:31-大原12:11 専用送迎バスで会場へ

ローカル 千葉10:08-蘇我10:15-長者町11:15 送迎バスで会場へ

千葉11:08-蘇我11:15-長者町12:12-大原12:19 専用送迎バスで会場へ

(長者町駅下車の場合、保養センターへ送迎要求の電話が必要、約5分で迎えに来る。)

(帰路) 特急わかしお22号 大原17:20-蘇我18:01-東京18:35

ローカル 大原17:41-長者町17:47-蘇我18:53-千葉19:00

大原18:11-長者町18:17-蘇我19:15-千葉19:20

会 員 た よ り

- 16 精 原田正夫 腰痛と歩行不如意のため、新年会のみに参加します。丹毒は治癒、大腸の内視鏡検査は全然異常無し。残るは歩行のみ。雨天を除き、起床後約1時間ばかり歩行訓練をしております。何とか万歩会に参加出来るようにしたいと思っておりますが？、無理でしょうか。
- 19 機 山田泰雄 「長寿をカクシャクと生きるには」ボケの9割は心の生活習慣病です。趣味なく、生き甲斐なく交友も少ない人はなり易いのです。工業会の行事に積極的に参加しましょう。
- 20 原 斎藤勝夫 ご無沙汰してお世話をかけています。妻の介護に日夜従事し、離れられない事情です。総会には、なんとか出たい気持ちで一杯です。
- 22 機 関 誠治 万歩会の11月28日(JR水道橋集合)、3月27日(京成佐倉集合)、5月22日(JR巣鴨集合)には参加致します。
- 22 機 高山和夫 所用のため散策・新年会とも参加できません。皆様のご健勝と御盛会をお祈りします。
- 22 機 山本芳正 体調不良が続いているので、1月の新年会は、ひと休みします。
- 22 金 明石和夫 今のところ体に大きな故障なし。何とか80才までは、この状態でと願っています。
- 22 電 中村善一郎 10月10日PM3:30発送便(会報32号)が、10月11日午前に着きました。クロネコメール正解でした。しかも日曜・祭日でしたのに。
- 22 通 幸道貞一 散策と新年会楽しみにしています。第25回囲碁会(8.21開催)で久しぶりに4回目の優勝をさせて頂きました。(前回優勝は第21回)。
- 25 原 小河 孝 県の生涯大学に通学しており、当日は講義があり、いずれにも参加できません。新役方々ご苦労さまですが宜しくお願いします。
- 25 電 山田秀男 一年が病院通いで終わるような有様で、支部活動に参加出来ず残念です。
- 29 機 大津正夫 年相応のまずまずの体調です。私用が立て込んでいるので総会の出欠は、4月末頃までに決める予定です。
- 29 電 茅野 正 当年77歳と年齢を重ねて来ましたが、囲碁、野菜作り等に精出して元気にやって居ます。
- 31 機 新田和夫 名前の訂正をお願い致します。 新田利夫 ⇒ 新田和夫
(長年に亘る誤記、申し訳ありません。早速訂正致しました)
- 31 電 原澤宏毅 古希を迎え、ボケ防止に陶芸に挑戦し県展に入選、頑張っています。
(おめでとう御座います。心からお喜び申し上げます)
- 33 短機高橋清忠 暫く御無沙汰致して居ります。会の益々の発展と皆様のご健康を、心よりお祈り申し上げます。
- 35 電 織内 勲 昨年は5月末にモロッコより帰国して、専ら県の三番瀬円卓会議を傍聴し、8月には県主催の「三番瀬フェスタ」にNGOとして参加したりし、環境問題を勉強しました。
- 35 金 渡部林二 Eメール下記の通りご連絡します。
rinwata@ce.wakwak.com
- 38 電 兼子八郎 万歩会には初参加ですが、よろしくお願いします。
- 38 電 高萩隆司 絶好の散策日和となることを祈っております。
- 38 電 橋 弘 ゴルフ同好会は楽しみにしておりお世話になっております。新年会前の万歩会の散策は始めてなので、心待ちにしています。

(14頁へ続く)

70 余年の人生を元気で祝賀

大津 正夫 (29 学機)

皆さんお元気ですか？小生歳相応の体調です。

S29 年 3 月卒業した私達にとって、昨年が丁度半世紀の節目の年でした。在京の四科幹事の肝煎りで H16 年 6 月、東京・サンケイプラザにて「卒業 50 周年記念祝賀会」が開かれました。初の四科合同でしたから、懐かしい顔・顔、「お久しぶり！」の声・声。

また私、就職した旧八幡製鉄(株)の同輩達と H16 年 11 月、北九州市で 5 年ぶりに「同期会」(六無会★・創立 50 周年祝賀会)を楽しんできました。

★：「六無会命名の由来」幕末の仙台藩士で寛政の三奇人の一人・林 子平が蟄居中の作、『親もなし、妻なし、子なし、版木なし、金もなけれど死にたくもなし』の和歌にピッタリの世相と寮生活であったから命名。

S29 年卒組は、各科とも少人数でした。卒業後は戦後復興、戦勝国に追い付け追い越せをモットーに懸命に働いた。また海外からの技術や設備の導入に取組み、それをこなして改良・改善を加え、更に独自技術の開発を重ねて、新工場建設に投入。思えば平成不況に入るまで、生き甲斐ある日々であった。

では「七〇余年の人生を元気で祝賀する S29 年組」の画像を添付します。



筑城大学工学部卒業50周年記念祝賀会 平成16年6月15日 於 大田町サンケイプラザ



六 無 会 50周年記念 平成16年11月8日 高見倶楽部

追記：

①29年卒

機械科17名、物故者2名、欠席者5名、出席者11名（特別会員1名含）

原動科19名、＃4、＃3、＃12、

電気科26名、＃4、＃11、＃11、

金属科8名、＃4、＃1、＃3、

合計70名、14名、20名、36名、

②29年入社組73名

事務系29名、物故者11名、欠席者3名、出席者16名、

技術系40名、＃4名、＃12名、＃28名、

薬学系4名、＃2名、＃1名、＃1名、

合計73名、17名、16名、45名+婦人14名（妻11+OG3）

③物故者は、工学部同期で20%、同期入社組で23%。

④高見倶楽部は八幡製鉄所の賓客用ゲストハウス。尚、最後列の左から4人目が筆者（大津）。

千葉県支部会報 32 号で、約 1 年 6 ヶ月長期出張した際、現地で見聞した事を基に

第一話 中国経済とその展望 (右肩上がりの高度成長を支える背景)

第二話 SARS 隠しの深い傷 (非典型肺炎に対する政府の対応と庶民の怒り)

について述べさせて頂いたが、今回は、16 年 7 月の夏に北京・上海等を旅した時に、現地案内をしてくれた中国国際旅行社の高福来氏から受けた説明の一部と、中国人民公大治安学部の王太元教授の論評を紹介しながら、中国の近況を述べてみたい。

第三話 あと 4 年 北京五輪カウントダウン

2008 年に北京で開催されるオリンピックに向けて、いま北京は空前の建設ラッシュに沸いており、都市の容貌が日々変わりつつある。私が宿泊したホテルの周辺も数えきれない程のビル建築が見られた。

北京オリンピックの開催が決ったのは、2001 年 7 月である。スポーツを通じ相互理解の増進と友好の精神に則って、若者たちを教育し、これまでの不衛生な生活習慣を改め、外国からの選手や観衆を迎える精神的な準備が整いつつあると高福来氏は話してくれた。例えば、暑い盛りの「三伏」(夏の土用の日から 30 日間)には、服を脱いで上半身は裸、パンツ一つという姿で自宅の門の前に陣取り涼をとったり、近所の人達とおしゃべりをしたりした姿が消えているそうである。

北京東四社区 (コミュニティ) が、オリンピックの社区に指定された。このため街道弁事処は、住民に「健康で文化的な生活様式」を提唱した。これによって、ところかまわず痰を吐いたり、ゴミを捨てたりするマナーに反する現象は、以前に比べ大幅に減少した。

北京の冬は最低気温で氷点下 10 度前後になる。胡同 (横町) は、主として石炭のストーブを使用していたが、電気暖房に、又トイレの改造も実施し、2008 年を目標に手を打ちつつある。

万里の長城 (観光地として有名なのが八達嶺。全長は約 6,700Km あり、北海道～九州間の約 2.5 倍におよぶ人類史上最大の建造物) の登り口の店では、北京五輪 BEIJING2008 年と染め抜かれた T シャツやタオル等が、数多く売られていた。

北京五輪のエンブレム (シンボルマーク) は、中国の印章舞い踊る北京 (中国印) で表現されている。中国人にとっては、オリンピックは国威宣揚の場であり、お祭りの時でもある。

中国の伝統文化の中からどのような要素を取り出して、この祭典を表現するか。そこで原作者郭春寧氏は、書道でそれを達成した。中国文化を代表する漢字を用いて造型すること。そして文字を載せる媒体は、中国の伝統ある印章でなければならないと考えたそうである。印章の主体は、基調の色彩は赤を選択してある。鮮やかな赤は中国文化特有の情熱や喜びの雰囲気を与えている。

図形の「京」という字のようなものは、祭典が行われる地名を表していると同時に、ゴールに向かう選手のようにもみえる。又歌いながら踊る人のようでもあり、これは中国人のオリンピック運動への憧れや、世界から来る賓客を迎える熱情と真心を表現していると



いえる。本当に素晴らしいの一言につくる。

4年後の北京五輪が立派に開催される事を、隣国の日本から祈ると共に、旅行社の高福来氏と再会出来る事を願って居る次第である。

第四話 規制緩和に向かう戸籍制度

長い間中国人の戸籍は「農業戸籍」と「非農業戸籍」に分けられてきた。都市に居住する人々は非農業戸籍（都市戸籍）を持ち、教育、就職、医療、社会保障などの面で多くの優遇条件が得られるよう国が規定してきた。

一方、農民は勝手に都市に転居することはできず、都市の中で各種の福祉を受けることはできない。又、農民の子供はどこで生まれようとも農業戸籍しか持てない。「借読費」というものがあって、農業戸籍の子供が都市の学校に通うときは、それを納めなければならなかった。

それが2001年に河北省の省都である石家庄市が戸籍管理の改革を行い、市街区部への農業戸籍の流入制限を全面的に取り消した。それによって多くの「農民合同工」（農村から都市に出稼ぎにきた契約労働者）はやっと戸籍の問題を解決することができた。

「借読費」のほかにも都市で暮らす農業戸籍の人や、外から来た人に対して種々な規定や手続きがあった。例えば「暫定居住証」が必要であり、外来人口の管理費や都市の人口収容費などを納めなければならない。こうした規定や手続きは、すべての中国の戸籍管理にその源がある。

即ち、・公民としての身分を証明すること

・社会の治安を維持すること

・戸籍の移転を規制すること

である。後になって需要が大きい十分に供給できない生活必需品を戸籍によって、一定量配給することなど、他の機能も追加されたのである。同時に就職、住宅、教育や社会福祉など公民の権利と利益も戸籍とリンクしている。これはみな、計画経済時代の産物である。ここで、戸籍に関する法の変遷を整理すると、次の様になる。

1958年の全国人民代表大会（全人代）は、「中華人民共和国戸口登記条例」を公布し、これが戸籍の移転を拘束する最初の規制である。この条例は、戸籍を農業と非農業に厳格に分け、農業戸籍の人が都市に転入することを規制し、人口移動を厳しく規制することを原則として確立したのである。こうした管理規定ができたのには、二つの原因がある。一つは社会の安定のためであり、もう一つは供給が不足していた当時の経済状況に適應するためであった。

しかし、農村の学生が都市に来て大学に進学することや、大学卒業後、都市での仕事を割り当てられること、また都市間の正常な転職などによる人口移動は許されていた。

そして1977年前後に社会はまた新しい問題に直面した。「文革」中に農村の人民公社の生産隊に入って定住した多くの知識青年たちが都市に戻ってきたし、一部の農民たちも都市に仕事を探しにでてきた。しかし、国の経済状況は依然として良くなかったため、社会の安定と逼迫した商品の供給を維持するために公安部は戸籍移転を規制する規定を公布し、かなり多くの細則を制定した。たとえば農業戸籍の人と都市戸籍の人が結婚した場合、その子供は母親の戸籍に入る。そればかりでなく、農村から都市への戸籍移転も厳しく禁じ

られた。

1980年代の初め、農村は生産請負制によって生産性が向上し、それにより多くの農村余剰労働力が就業の機会をみつけるため、都市に殺到して来た。このため、1984年に国は人口移動をやや緩和した法律を公布し、農民が県の下にある行政単位の「郷」や「鎮」に移住することができるようになった。だが農民は労働市場のチャンスが大きい都市への出稼ぎを望んだ。そのため、国はまた「都市における人口管理の暫定規則」を制定し、都市に流入してくる農民人口は暫定居住の登記が出来る様になった。

市場経済が不断に発展し、都市の労働力需要が日増しに膨大するのに伴って、人口の合理的な流動はもはや拒むことのできない一つの潮流となっている。こうした状況の下では従来の戸籍管理制度はすでに多くの弊害が出てきた。同じ公民でも戸籍が異なれば享受する待遇が違っている。戸籍の移転制限は、実際は労働力や人材の自由な流動を制限しており、都市の発展と農村の都市化の進行を阻害し農村の発展や農業の収入の増加にも悪い影響を与えている。

2002年の全人代で広東省が提案した「公民の移住の自由の権利を早期に憲法修正案に書き込む提案」を議題とされた。40年間あまりに中国の都市と農村の間に横たわってきた戸籍という垣根が、経済と社会の変化に伴って打破される望みが出てきた。以上のように中国政府の戸籍管理に対する変化は、新しい中国社会の変化の過程を現している。

改革は戸籍をなくすのではなく、人口移動の方式を根本から変えることである。現在の行政的コントロールを主とするやり方を、経済的なコントロールを主とするやり方に転換し、国は法律を制定し、社会は経済的にコントロールされ、個人は自主的に選択するという人口移動の新しいコントロールの形をつくるのである。

中国はこれからの5年の間に「移動の自由」が実現できるであろうか。

王太元教授は次のような見解を示した。

「公民は法に従って居住地を選択し、変更することができる」という法的な意味での自由です。だが「自由に移動すること」つまり公民が勝手にどこかに移り住むということが、5年以内に実現することは現実的には不可能でしょう。

自由に移動するには、移動する人がどこへ行っても順調に教育を受け、就業のチャンスがあり、社会保障を享受できるレベルに達しなければならないからである。同時に、移動先の人口の受け入れ能力や移動する人自身の適応能力なども、非常に重要な要因です。

これは、3年や5年で解決できるものではありません。

(追記)

2003年の都市住民の一人当たり所得は8472元なのに対し、農民の収入は三分の一以下の2622元。(2004年10月4日読売新聞朝刊) 都市と農村の所得格差は大きい。農民収入低迷の本質は、途方も無い農民人口の規模にあるといわれる。

温家宝首相は2004年の春、農民、農村、農業の「三農問題」を最重要課題とし、農民の税や負担金の軽減に乗り出した。だが、新たな問題として今度は土地問題が生じて来た。開発のために当局に耕地を奪われる「失地農民」の急増である。こうした農民は現在4000万人以上とされ、毎年約200万人のペースで増えるという。十分な補償金が支払われない上、仕事の手当てや社会保障もないケースが大半である。

囲碁会のご案内

2005.2.20

囲碁を楽しみたい方はお気軽にご参加下さる様お待ちしております。

1. 運営方針

- 1) 囲碁を楽しみ、親睦を中心に運営し、新しい参加者を大いに歓迎します。
- 2) 他支部との交流を進め、会友制を実施するなど対局相手を広げます。
- 3) 点数制の運用で棋力の調整を図り、規程による昇級段を行います。
- 4) 大会は3ヶ月毎に定例的に開催し、年間成績により表彰も行います。

2. 2004年の囲碁大会入賞者

第23回 2004年2月28日 参加 17人

(A組) 優勝 森(五) 2位 北村(五) 3位 海野(六)

(B組) 優勝 鈴木(三) 2位 穂坂(初) 3位 伊能(二)

第24回 2004年5月22日 参加 12人

優勝 金子(初) 2位 海野(六) 3位 木内(八)

第25回 2004年8月21日 参加 14人

優勝 幸道(初) 2位 海野(六) 3位 穂坂(初)

4位 小白井(四) 5位 佐藤(七)

第26回 2004年11月27日 参加 8人

優勝 高橋(三) 2位 伊能(二) 3位 小白井(四)

注：() 内漢数字は段、洋数字は級を示す

幹事 囲碁会会長 高橋 孝雄

副会長 穂坂 邦光

平成17年前期 俳句コンクール

作品募集

兼題 虹、夜釣り、牡丹

締切 5月15日

宛先 〒274-0822

船橋市飯山満町 2-437-21

塚越 としを

TEL/FAX 047-466-2396

Eメール tukakosi@msd.biglobe.ne.jp

兼題にかかわらず、当季雑詠でも結構です。

ご家族の方々に、気楽に投句して下さい。(5句以内)

随時、添削をお引き受け致します。無料です。

(但し、添削句のコンクール投句はご遠慮下さい)

(まさか、うっかりしたとも言えない。冷や汗の出る言い訳です)

目つむれば隠沼木の実時雨かな

〃

(いつか見た山里の情景、印象深く脳裏に残っています。俳句の侘び・寂び)

名を知らぬ木の実清かに古稀の秋

S 34 原 芝山 佑芳

(秋、木々が生命を繋ぐための営みが見られます。自然の素晴らしさに感動)

生れし子を抱きしマスクの笑ひけり

会 友 平野 昌子

(赤ちゃんに風邪を移さないように、目が優しく笑っていますね。平和な喜び)

日めくりが風に煽られ師走かな

S 32 金 穂坂 邦光

(今年もあと残り何枚でしょうか、風に吹かれて淋しそう煤払ひ髭のはみ出すマスクかな

〃 奥 様

(大晦日風景。一仕事を終えお風呂に入って、格闘技観戦ですかね)

【後記】

俳句を作るコツは、先ず季語を決めて周囲を見渡す。又は周囲の事象を見渡して季語を発見する。それから五七五の定型で言葉を組み立ててゆくのだが、その時、何か(人生の一面面とか、自然の素晴らしさとか)を発見するところである。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

「七福神と放鷹」

塚越としを

人日や恵比寿大黒福祿寿

悴みてまづ福祿寿詣でけり

毘沙門天どうと邪鬼踏む初明り

寿老人霜膨れにておはしけり

布袋尊おっほおっほと枯れの中

龍の玉散れる弁天寂とあり

鷹の眼の冬日に挑む構へあり

若鷹の風に乗るとき 瞑りて

鷹匠の鷹呼ぶ笛の光りけり

蒼鷹爪の赤きを良しとせり

平成十六年 後期

俳句コンクール成績発表 塚越としを

—— 兼題：木の実・マスク・師走 ——

【特選】

孫帰るあとに木の実の残りけり S 36 金 小室 哲夫

評 実に端的に事実だけを述べておられますが、孫に対する愛情が細やかに伝わってくる佳句です。俳句は、こうあるべきというお手本でありましょう。

掌に木の実握ねつつ老教師 S 24 機 三幣 正人

評 掌を胡桃とか木の実とかで刺激を与えると大脳の活動が活発になって、アイデアの誘発、脳の解析力強化に役立つ。俳句でも実験してみたら良いかも。

【佳作】

被災地のダムに雪積む師走かな S 36 金 小室 哲夫

(去年のキーワードは「災」とか。被災地ではこの冬を越す苦労も多いことでしょう。インド洋大津波も恐ろしいニュースでした)

密やかに木の実息づく遺跡掘る S 24 機 三幣 正人

(縄文遺跡の発掘現場から木の実の化石などが出てきます。その発掘穴に平成の木の実が転げ落ちます。考古学も興味深いもの)

木の実降る古城の歴史肯ひつ S 30 機 檜山 邦良

(遙かなる古城のほとり、椎の巨木はその栄枯盛衰を見守つて来ました)

ふるさとの蓮根届く師走かな

(毎年、正月が近づくと故郷から届く蓮根。お互いに健康を確認し合う喜び)

マスクして箸大小使ひ分く S 39 精 高柳 かつを

(少し風邪気味だが、頑張らなくちゃ。広いところ、狭いところを丁寧に)

木の実落つ窠伏せてある武家屋敷

(大切に管理してある歴史遺産です。小道具も堂に入っていますね)

マスク取り遅参の訳をくどくどと S 33 短電 山形俊一郎

第32回 総会資料

1号議案 平成16年度（平成16年3月1日～平成17年2月28日）事業報告

- | | | | |
|-------------|--|-------------|---------------|
| I 第31回総会 | 平成16年5月30日 | 幕張プリンスホテル | 奥野 水雄 幹事 |
| II 本部理事会 | 平成16年6月5日 | 東條インペリアルホテル | 15年8月 榎本 幹事 |
| | 理事 税所 裕、檜山邦良 | 出席 | 15年8月 榎本 幹事 |
| III 本部常任理事会 | 平成16年12月18日 | ホテル・グランドパレス | |
| | 常任理事 税所 裕 | 出席 | 会報 廣川 |
| IV 幹事会 | 3月14日、4月11日*、5月9日、9月12日、10月10日*、
7月12日 11月14日、平成17年1月9日 | | *：会報発送作業 |
| V 新年会 | 平成17年1月9日 | 安食・金田屋 | 33名(内女10) 金田屋 |
| VI 支部交流 | 埼玉(4月)、水戸・勝田(4月)、栃木(7月)、東京(10月) | | |
| VII 会報 | 31号 4月発送、32号 10月発送 | | |
| VIII 事業報告 | (1) 俳句、(2) 囲碁、(3) 史跡万歩、(4) ゴルフ | | |

2号議案 平成16年度 決算及び会計監査報告 承認の件

(13頁 資料-I 二参照)

3号議案 平成17年度（平成17年3月1日～平成18年2月28日）事業計画（案）

- | | |
|-------------|---|
| I 第32回総会 | 平成17年5月28日 |
| II 本部総会・理事会 | 平成17年6月25日 大阪 |
| III 幹事会 | 3月13日、4月10日*、5月8日、9月11日、10月9日*、
11月13日、平成18年1月8日 |
| IV 新年会 | 平成18年1月8日 |
| V 支部交流 | |
| VI 会報 | 33号 4月発送、34号 10月発送 |
| VII 事業活動 | (1) 俳句、(2) 囲碁、(3) 史跡万歩、(4) ゴルフ
各会長より説明 |

4号議案 平成17年度 予算案 承認の件

(13 頁 資料-Ⅱ ご参照)

5 号議案 支部長交代の件

3月13日の幹事会に於いて支部長人事が審議決議されました。税所支部長が任期満了に伴い辞任し、桧山邦良現幹事長が次期支部長候補に推挙されました。

6号議案 その他

資料一 I 平成16年度 決算及び会計監査

(円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	実績	備考	科目	予算	実績	備考
前年度繰越金	732,275	732,275		総会費	370,000	361,037	
本部助成金	150,000	150,000		新年会費	300,000	220,134	+ 79,866
総会費収入	350,000	350,000		交流費	60,000	46,700	+ 13,000
年会費収入	500,000	444,000	△ 56,000	通信連絡費	200,000	128,860	
新年会費収入	300,000	263,000	△ 37,000	会議費	60,000	72,820	
雑収入	50,000	90,000	+ 40,000	会報制作費	200,000	200,445	
			税制改正	事業費	120,000	110,430	+ 9,570
				事務・雑費	40,000	32,474	+ 7,526
				次年度繰越金	732,275	856,375	124,100
計	2,082,275	2,029,275		計	2,082,275	2,029,275	△ 53,000

繰越金	郵便貯金	現金
内訳	856,375	0

平成17年 3 月 25 日 監査の結果誤りないと認めます。

監事 中村善一郎 印

監事 長谷川宏佑 印

資料一 II 平成17年度 予算案

(円)

収入の部				支出の部			
科目	前年実績	予算	備考	科目	前年実績	予算	備考
前年度繰越金	732,275	856,375		総会費	361,037	370,000	
本部助成金	150,000	150,000		新年会費	220,134	300,000	
総会費収入	350,000	350,000	10,000x35人	交流費	46,700	60,000	
年会費収入	444,000	500,000	2,000x250人	通信連絡費	128,860	200,000	
新年会費収入	263,000	300,000		会議費	72,820	70,000	△ 2,820
雑収入	90,000	50,000		会報発行費	200,445	210,000	
				事業費	110,430	120,000	
				事務・雑費	32,474	33,000	取込手数料
				次年度繰越金	856,375	843,375	
計	2,029,275	2,206,375		計	2,029,275	2,206,375	

2005年のゴルフ・スケジュール

ゴルフ会長 高萩隆司(38 学電) 副会長 綿引貞男(38 学電)

桜の花の便りとともに、新たなゴルフシーズンの開幕です。ゴルファーなら腕がムズムズ、気がソワソワしてきますよね。どうですか、多賀の仲間とゴルフをしましょう。同窓会ゴルフは楽しいですよ。初対面のパートナーもたちどころに十年來の知己に変わります。永い人生、同窓会ゴルフで、交流の輪をもうひとつ広げてみませんか。ゴルフをやってみようかなという気がありましたら、幹事まで御一報ください。一人でも結構、友達と一緒にならなお結構で、同好会は多くの同好の士の参加を歓迎します。行事の都度、案内を差し上げますので、都合がよければ参加ください。

今年度の行事予定としましては、趣向を凝らした3回の定例コンペと、近隣支部との親睦コンペを計画しております。どこの支部でもゴルフは盛んにやられていますが、近隣五支部(東京、水戸勝田、埼玉、栃木そして千葉支部)の親睦コンペで、今年は当支部が幹事です。ぜひ、成功させて、親睦の実を挙げたいものです。

~~~~~ ◇ ~~~~~ ◇ ~~~~~

### 平成17年新年会の報告

平成17年の恒例の新年会が、今年は1月9日(日)午前中、「房総風土記の丘」から安食周辺の史跡を巡る万歩会、そして午後1時過ぎから、安食の利根川沿いの割烹「金田屋」で懇親会と2部形式で開催され、会員24名、会友9名計33名のご参加がありました。

懇親会は、税所支部長のご挨拶、原田正夫顧問(16年精密)の乾杯のご発声で宴が始まり、俳句会・囲碁会・ゴルフ会・万歩会の表彰と活動報告・計画の発表が行われました。

懇談途中で、明石和夫(22年金属)さん、兼子一郎(38年電気)さんに近況の報告とお話を頂戴いたしました。

楽しい時間は瞬く間に過ぎるもので、懇親と情報交換の2時間余でしたが、最後に監事 中村善一郎(22年電気)さん、渡辺和夫(48年電気)さんの音頭で、多賀工専校歌・茨城大学校歌・吼洋寮寮歌・逍遥歌を斉唱し、幸道貞一(22年通信)さんの手締めで、盛況裡にお開きになりました。

(担当 副支部長 大和田、企画 山形)

~~~~~ ◇ ~~~~~ ◇ ~~~~~

(3頁からの続き)

38 精 市村敬司 色々御苦勞様です。しばらくは休養の予定です。

40 精 千代和彦 2003年6月に定年退職しました。

46 電 兼巻良勝 町会、神社の仕事及び地元住民のためパソコン教室(ボランティア)を行っており、多忙な日々を送っています。

平2 情 浦野佳子 会報31号・平成15年度会費納入者氏名中、私の年度科は「平2学情」となっていました。「平2学情」が正しい学科です。

(転記を誤りました。ご迷惑をおかけしました)

計 報

23 機械 大川 栄一様 平成17年1月23日 逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

第46回史跡万歩会（第6回バス利用）・俳句会（第5回吟行会）合同バス旅行

史跡万歩会 高橋 清 佐藤 栄一

俳句会 塚越 としを 小室 哲夫

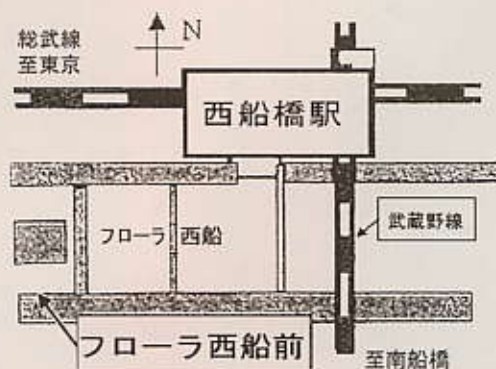
千葉県内のバス旅行は一通り周回した事となり、今回は多賀工業会の母校訪問を計画しました。学生時代の思い出に浸り、語り合いそして昔を偲んでください。沢山の方の参加を期待しております。

- 1 期 日 平成 17 年 7 月 7 日（木） 雨天実施
- 2 集合場所と時間 フローラ西船前（下図参照） 集合 7 時 55 分（8 時 00 分出発）
- 3 行程
西船橋 → 湾岸市川 IC（東関道） → （首都高・常磐道） → 日立南太田 IC →
（国道 6 号） → 茨城大学工学部正門 11:00 着 12:00 発 →
日立港さかなセンター 12:30 着（昼食・買物 1 時間） → （常磐道） →
水戸偕楽園 14:30 → （常磐道・首都高） → 西船橋 17:30 着
（当日の状況で多少の変更があります。予めご了承ください。）
- 4 参加費 3500 円
- 5 申し込み 同封の葉書でお申し込みください。定員(50 名)になり次第締め切らせて頂きます。お早めにお申し込みください。

6 集合場所（バス乗降場所）

フローラ西船前

西船橋駅南口を出て総武線沿いの道を約 150m 市川方面に行き左折して 110m。
次の十字路を右へ。



このページには「支部役員・役割・連絡一覧表」が掲載されていましたが、個人情報保護のため archive からは削除しました。

元の記事を確認したい方は shibukanji@mbn.nifty.com へ連絡してください。